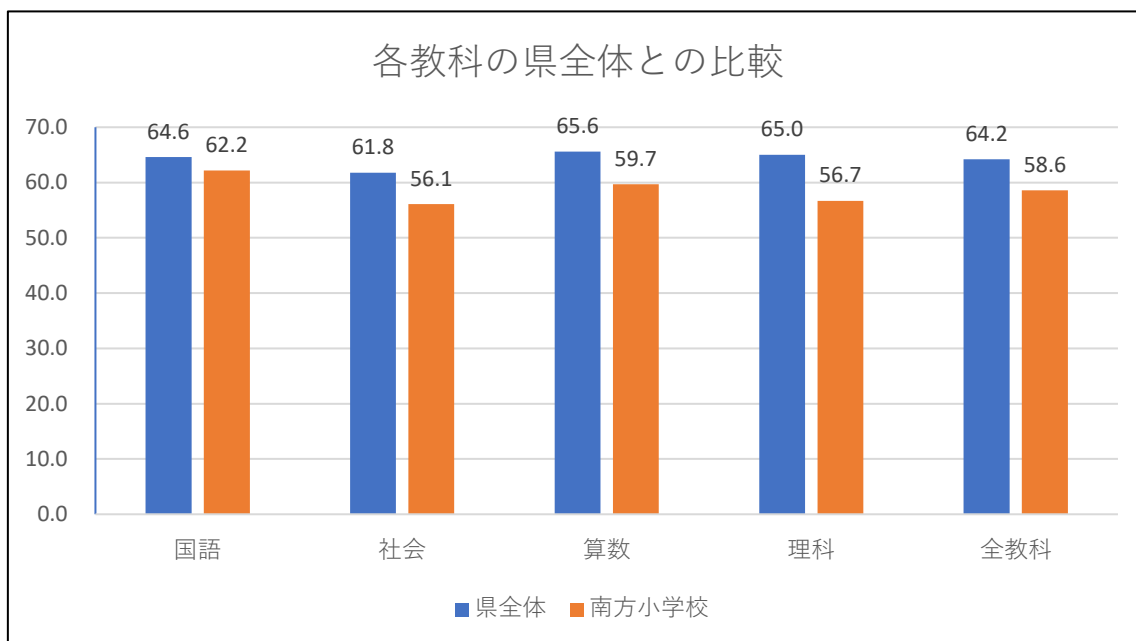


鹿児島学力学習状況調査結果



	国語	社会	算数	理科	全教科
県全体	64.6	61.8	65.6	65.0	64.2
南方小学校	62.2	56.1	59.7	56.7	58.6

どの教科も県平均を下回っている。(国語-2.4 社会-5.7 算数-5.9 理科-8.3)

国語を領域別で見ると、話すこと・聞くことが県を下回っている。問題形式で見ると記述式は県を上回っている。問題を丁寧に読むことでしっかりと答えを導き出せると考える。

社会では、領域別で見ると日本の気候・自動車工場が大きく下回っている。問題形式で見ると記述式が大きく下回っている。なぜそのようなになっているのか考える授業を行うことが大切であると考えられる。

算数では、数と計算・図形の領域が県を下回っている。問題形式で見ると記述が大きく下回っている。式だけではなく言葉でも説明を行わせることが必要であると考えられる。

理科では、エネルギーと粒子の問題が下回っている。問題形式で見ると記述と短答形式が下回っている。理科的用語をしっかりと覚えさせることやその言葉を使って説明することなどが必要であると考えられる。

学習状況調査では意欲的に取り組んでいる様子や前向きな様子がうかがえる。この意欲を大切にしながら、思考する授業に取り組ませていくことが力を付けることにつながっていくと考える。

これらの結果をもとにして今後の学習や授業改善に生かしていきたい。